主催:立命館大学人文科学研究所・重点プログラム「グローバル化とアジアの地域」
共催:科学研究費基盤研究(B)「現代社会におけるツーリズム・モビリティの新展開と地域」(研究課題／領域番号:17H0225)

The Multiple Mobilities of Tourism

日時 2019年2月18日(月)

14:30～15:30(講演者講演会)/15:40～17:00(シンポジウム)

会場 ZS204 (立命館大学衣笠キャンパス　存心館)

講演者 ティモシー・エデンサー(Dr Tim Edensor)氏
(マンチェスター・メトロポリタン大学)

シンポジウム:「観光におけるグローバルな移動性(モビリティ)」

パネリスト
神田孝治氏(立命館大学文学部教授)
須藤廣氏(跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授)
山口誠氏(獨協大学外国語学部教授)
アダム・ドーリング氏(和歌山大学国際観光学研究センター准教授)

入場無料
通訳有

開催の挨拶:藤巻正己氏(立命館大学文学部特命教授)/
シンポジウムコーディネーター:遠藤英樹(立命館大学文学部教授・人文科学研究所所長)

ティモシー・エデンサー氏は、ジョン・アーリ氏の指導のもとランカスター大学でPhDを取得し、現在はマンチェスター・メトロポリタン大学教授として文化地理学の講義を担当している。
著書として『Tourists at the Taj』(Routledge, 1998)、『National Identity, Popular Culture and Everyday Life』(Berg, 2002)、『Industrial Ruins: Space, Aesthetics and Materiality』(Berg, 2005)、『From Light to Dark: Daylight, Illumination and Gloom』(Minnesota, 2017)、編著として『Geographies of Rhythm』(Routlegde, 2010)など多数の業績を有し、ナショナル・アイデンティティ、観光、産業遺産、モビリティーズ、イルミネーションと暗闇の景観といった領域に関心をむけつつ研究を展開してきた。メルボルン大学客員研究員に就任し着手する現在の研究プロジェクト「Living with Stone in Melbourne」では、都市のマテリアリティに焦点をあてる。

【お問い合わせ】
立命館大学人文科学研究所
TEL: 075-465-8225（直通）/Email:jinbun@st.ritsumei.ac.jp